

何國十年之身

三十九
一〇

此書は、
近世の
利権を
論じて、
主として
支那の
利権の
喪失を
痛恨し、
其の挽回
を期すに
力をつくす
ことを
主張する
ものである。
著者は、
この利権
の喪失が
國家の
存亡に関
するものである
と、
強調して
述べ、
國民の
一人心を
一にして、
共同の
努力を
要する
と、
訴へて
いる。

三十九

何國十年



支那の
利権